

会 議 録

1 会議名

令和7年度第1回大島区地域協議会

2 議題（公開）

1 報 告

- (1) 廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の実施について
- (2) 大島区における主な事業について
- (3) 大島区行事予定について

2 自主的な審議

- (1) 大島区の地域活性化に向けた取組について

3 その他

- (1) 令和7年度第2回地域協議会の開催日について

3 開催日時

令和7年4月15日（火）午後6時30分から8時08分まで

4 開催場所

大島コミュニティプラザ 2階 市民活動室1

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：高野会長、岩野副会長、飯田委員、牛田委員、江口委員、中原委員、中村委員、布施委員、丸田委員、丸山委員、本山委員、山崎委員
- ・浦川原区総合事務所：廣田産業グループ長、長谷川建設グループ長
- ・事務局：大島区総合事務所 佐々木所長、本山次長、武田市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 高橋班長、梅澤主任

8 発言の内容

【高野会長】

- ・会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・本日の会議録の確認は、中村委員にお願いします。
- ・報告事項（1）廃校利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査の実施について、事務局に説明を求める。

【本山次長】

- ・資料1に沿って説明

【高野会長】

- ・報告事項（1）について、質疑を求める。

【牛田委員】

- ・市場調査については、法人でなければ参加資格はないのか。

【本山次長】

- ・申し込みの時点で対象者が参加資格の要件を満たしているかどうか確認する形となる。

【中村委員】

- ・4月17日が説明会の申し込み期限だが、応募はあるのか。実際には難しいのではないのか。

【本山次長】

- ・資産活用課で受け付けているので、こちらでは把握していない。

【牛田委員】

- ・仮に市場調査で利活用する団体が現れなかった場合、施設をなくす方向に進んでしまうのか。
- ・法人からの希望があった場合、地域住民に情報提供はあるのか。

【本山次長】

- ・持ち帰って担当課に確認し、後日回答させていただく。

【岩野副会長】

- ・現在、大島小学校の給食を旧大島中学校で作っているが、大島小学校の校舎を旧大島中学校へ移動することはということは考えられないか。

【本山次長】

- ・今回の調査では、市が公費を投じて利活用するよう求める提案は対象とならない。

【高野会長】

- ・ほかに質疑を求めるもなし。
- ・報告事項（２）大島区における主な事業について、及び、報告事項（３）大島区行事予定について、事務局に説明を求める。

【本山次長】

- ・資料２に沿って総務・地域振興グループの事業について説明

【武田グループ長】

- ・資料２に沿って市民生活・福祉グループ及び教育・文化グループの事業について説明

【廣田グループ長】

- ・資料２に沿って産業グループの事業について説明

【長谷川グループ長】

- ・資料２に沿って建設グループの事業について説明

【本山次長】

- ・資料３に沿って大島区の行事予定について説明

【高野会長】

- ・報告事項（２）及び（３）について、質疑を求める。

【中原委員】

- ・大島河川公園は、どこにある公園のことをいうのか。

【本山次長】

- ・大島生活改善センターの横にある川の堤防の広場のことである。

【長谷川グループ長】

- ・年１回の草刈を業者をお願いしている。

【中原委員】

- ・農村公園管理運営費に安全で快適な公園環境を維持するとあるが、例えばどのようなことに使うのか。遊具が古くなっているから直してくれたり、地面の補修をしてくれたりするのか。

【廣田グループ長】

- ・予算としては、地元の方への草刈りなどの管理をしていただく報償費や公園によっては電気、水道が設置されているため、その維持管理経費となる。

- ・遊具や地面の補修については、今年度は予算の計上はしていない。市全体の中で遊具の設置について検討していく予定。

【岩野副会長】

- ・前年度の決算書などを見ることができるのか。

【本山次長】

- ・令和6年度についてはまだだが、それ以前のものについては市のホームページなどで見ることができる。

【佐々木所長】

- ・例年9月の議会で前年度の決算認定がされる。市ホームページの9月定例会のページで資料を見ることができ、決算書もある。

【長谷川グループ長】

- ・区ごとに予算が分かれていないものがあるため、見づらいかもしれない。

【佐々木所長】

- ・委員会資料もあり、その中には内訳も書いてあるものもあるが、全てではない。
- ・大島区の部分のみ切り取って全て見ることができる資料までは無い。

【中村委員】

- ・中山間地直接支払交付金について前年度比2,000万程度の差があるが、どのような理由があるのか。また、今後も減っていく可能性があるのか。

【廣田グループ長】

- ・1期5年間で、令和6年度までが第5期、令和7年度から第6期となる。令和6年8月、集落に第6期の要望調査をさせていただき、それを基に計上している。5年一括りのため、継続した取組への不安から取り組む集落が減少していることが原因である。今後も予算が減っていく可能性はある。ただし、5年の期間中に作付面積が増え、予算が増える可能性もある。

【牛田委員】

- ・公園の遊具修繕について、市にお願いするのではなく、住民自らが金策を行ったり、市独自予算をつかって住民主導でやっていくというのは可能なものか。市の予算でないと修繕等はできないか。

【廣田グループ長】

- ・今ははっきり言えないので持ち帰らせていただく。

【高野会長】

- ・ほかに質疑を求めるもなし。

(廣田グループ長及び長谷川グループ長 退出)

- ・3自主的な審議(1)大島区の地域活性化に向けた取組について、事務局に説明を求める。

【高橋班長】

- ・資料4及び参考資料に沿って自主的な審議事項の決め方、今後の流れ、本日のグループワークの進め方を説明。

【高野会長】

- ・自主的な審議(1)大島区の地域活性化に向けた取組について、質疑を求めるもなし。
- ・事務局の説明のとおり、グループワークを行う。グループ分けは正副会長、事務局と協議し、在住地区等を考慮し決めた。Aグループは、私と牛田委員、江口委員、中村委員、本山委員、山崎委員、Bグループは、岩野副会長、飯田委員、中原委員、布施委員、丸田委員、丸山委員とする。
- ・各グループに記録係として、事務局職員が参加する。Aグループは梅澤主任、Bグループは高橋班長とする。
- ・進行と発表は、正副会長が行う。グループワークは、午後8時00分までを目途に行う。

(グループワーク)

【高野会長】

- ・それぞれの班で出た意見について発表する。
- ・Aグループでは、どこも同じだが少子高齢化については、避けて通れない課題であり、今後は地区だけで行動するのではなく、大島区全体で助け合うことを協議会の中で模索していきたいなどの意見が出た。

【岩野副会長】

- ・Bグループでは、農村公園などの環境を良くしようという意見が多かった。雇用に関しては、担い手の確保や企業誘致が必要。ほかに交通に関する意見などが出た。

【高野会長】

- ・今回の意見などをまとめ、どのように活性化を図るかの方向性を導いていきたい。

【高野会長】

- ・その他事項（１）令和７年度第２回地域協議会の開催日について、５月２０日（火）午後６時３０分から大島コミュニティプラザで開催することとしてよいか。

（「はい」の声）

- ・ほかに発言を求める。

【高野会長】

- ・ほかに発言を求めるもなし。
- ・それでは、以上をもって第１回地域協議会を閉会する。

９ 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-594-3101（内線 63）

E-mail：oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。